



学校法人聖心女子学院
生涯学習センター 講座



菩薩半伽像(法隆寺献納宝物) 飛鳥時代・7世紀 東京国立博物館

聖心女子大学
キリスト教文化研究所
教養ゼミナール

聖心女子大学
グローバル共生研究所
グローバル共生セミナー

新しい自分に出会える 全40講座

聖心の 公開講座 ガイドブック

2026
年度



聖心会みこころセンター

講座の申込み

講座の申込み

各講座のお申込みは、下記のホームページからお願いします。

生涯学習センターの講座は前期講座のみ掲載しています。後期講座は10月頃に発行するご案内をご参照ください。

※お電話によるお申込みは承っておりません。

生涯学習センター講座	教養ゼミナール	グローバル共生セミナー	聖心会みころセンター
			
 生涯学習センター ホームページ	 キリスト教文化研究所 ホームページ	 グローバル共生研究所 ホームページ	 聖心会みころセンター ホームページ
https://www.sacred-heart.ac.jp/llc/	https://sites.google.com/view/ircc-ush/	https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/	https://www.m-sacred-heart.com/

お問い合わせ先（お問い合わせは、下記のメールアドレスへお願いします。）

学校法人聖心女子学院
生涯学習センター


sgc-hq@sacred-heart.jp

聖心女子大学
キリスト教文化研究所


kiriken@u-sacred-heart.ac.jp

聖心女子大学
グローバル共生研究所


jimukyosei@u-sacred-heart.ac.jp

聖心会みころセンター


kouza@sacred-heart.or.jp

会員制度について

- 年齢、性別、学歴等の制限はなく、どなたでも入会いただけます。
- 受講にはかならずしも入会は伴いませんが、会員になられますと以下の特典があります。
 - ① 受講料10%割引(キリスト教文化研究所 教養ゼミナール、聖心会みころセンターを除く)
 - ② 「聖心の公開講座ガイドブック」の定期送付
 - ③ 不二農園のお茶の10%割引
(購入される方は、不二農園 <https://www.seishin-fujinouen.jp/> QRコードまで直接お申込みください)※※学校法人聖心女子学院法人本部事務局での販売は終了いたしました。



- 入会金は1,000円(終身会員)です。

学校法人聖心女子学院 生涯学習センター (E-mail: sgc-hq@sacred-heart.jp)までメールでお申込みくださるか、または生涯学習センター講座のWeb受講申込みの際に、入会希望の欄に印を入れてください。折り返し入会金の振込先口座をお知らせします。

目次

	ページ
生涯学習センター講座	2～8
教養ゼミナール	6～11
グローバル共生セミナー	12～17
みこころセンター講座	18～21
<hr/>	
カテゴリーから探す	
宗教	
● 日常と聖書	2
● キリスト教への招き XI	2
● BE*hive企画展「宗教と共生」	3
● 宗教音楽と典礼音楽の世界Ⅳ	6
● 岩下壮一と日本のカトリック哲学の始まり	8
● 知的世界の基盤としての修道霊性	9
● 現代宗教学—ユダヤ教徒は聖書をどう読んできたか—	11
語学	
● 聖書ヘブライ語中級(購読)	10
● ヘブライ語文法初級(続)	10
● ウクライナ語の世界	12
● インドネシア語の世界	12
● オランダ語の世界	13
● ブラジルポルトガル語の世界	13
共生	
● 手話の世界	14
● 地域日本語教室ボランティアのすすめ	14
● にほんご講座「ひろおおしゃべりクラブ」	15
● 赤十字救急法基礎講習—心肺蘇生・AED—	15
● 地域規模課題ファシリテーター養成のためのSDGs/ESD for 2030実践講座	16
● 【性の多様性】にじいろコミュニティスペース@聖心女子大学	16
● 知らない楽器をさわり、知らない言葉でうたう —インドネシア西ジャワのガムラン・ドゥゲン ワークショップ—	17
● 山谷ボランティア	21
文学・芸術	
● 『大和物語』を読む	3
● 曾野綾子・人と文学	4
● 『源氏物語』『宇治十帖』を読む	7
● 小説の中の女性たち—昭和—	7
● ミサ曲の歴史	8
● 文学と人生	8
● キリスト教中世美の世界—スペイン中世写本挿絵の光輝—	11
その他の 教養	
● 桃山の茶陶	4
● 長崎奉行所伝来キリシタン関係資料にみる信仰と禁教 —いわゆるマリア観音と踏絵をとおして—	5
● もっと知りたい仏像の魅力—飛鳥時代を中心に	5
● トーチライトセミナー2026	6
● 私たちの愛唱歌150年—近代国家日本の「懐かしい歌」は讃美歌から始まった—	9
● ステンドグラスを見る眼—中世から現代まで—	10
● 希望のつくり手となるために	18
● 心に灯す光	18
● 心の泉	19
● 『fatherカンボジアへ幸せを届けたゴッちゃん神父の物語』上映会・特別講演会	19
● 親子で楽しむおはなし会	20
● 親子で楽しむクリスマスおはなし会	20

宗教講座 日常生活と聖書



聖書学の勉強ではなく、講座名の通り、3人の担当者が、日常生活の中でふと気づいたこと、励まされたこと、安心したことなど主観的にお伝えする気軽な講座です。参加の皆様の自由な反応や、ご意見もお互いの理解を広げます。正解というのではなく、また発言しない自由も十分あります。

聖書の使用箇所は担当者がそのころの日常生活から考えて決めてお知らせしますが、聖書は用意してありますので、お持ちでなくても大丈夫です。内容に継続性はないので、どの段階での参加も可能です。

日 程 水曜 10:30~12:00 全9回
2026年：5/20、6/17、7/15、10/7、
11/11、12/16
2027年：1/13、2/17、3/17

受講料 13,500円

定 員 15名程度

会 場 聖心女子大学4号館 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 シスター 岩井 慶子(聖心会)
シスター 田嶋 淳子(聖心会)
シスター 長谷川 和子(聖心会)

対 象 制限なし



宗教講座 キリスト教への招き XI



第11期となる2026年度は、キリスト教二千年の歴史をたどります。イエスの時代と教会の誕生から始まり、迫害と公認、中世の教会、東西教会の分裂、宗教改革とカトリック改革、近代社会との対話、第二バチカン公会議を経て、多様な価値観のある現代のキリスト教の姿までを概説します。典礼、建築、音楽、社会などについても触れ、キリスト教と各時代の文化と関係についても考えたいと思います。

この講座では、カトリック教会の立場から、信者ではない方にもできるだけ分かりやすくお話しいたします。これまでの講座を受講していない方も歓迎します。

日 程 土曜 14:00~15:30 全10回

- ① 5/9 キリスト教の誕生
- ② 6/13 使徒の活動と迫害の時代
- ③ 7/11 キリスト教の公認
- ④ 9/5 中世キリスト教世界の発展
- ⑤ 10/3 東西教会の分裂
- ⑥ 10/24 宗教改革
- ⑦ 11/21 カトリック改革と海外宣教
- ⑧ 1/9 近代社会とキリスト教
- ⑨ 2/13 第二バチカン公会議による刷新
- ⑩ 3/13 現代のキリスト教

会 場 聖心女子大学4号館 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 宮越 俊光(カトリック中央協議会)

対 象 制限なし

受講料 20,000円

定 員 15名程度



文学講座

『大和物語』を読む



対面式

『大和物語』は、『伊勢物語』と並び称される歌物語の一つであり、平安時代の貴族社会で語られていた恋愛譚や古伝説などを紹介する作品です。我々は、これを読むことによって、平安貴族の興味が何に注がれていたか、また彼らの築いた文化がどのようなものであったかを、如実に知ることができます。ただし、この作品は有名である割に注釈書が少なく、内容が十分には理解できていないのが現状です。

この講座では、その各章段を丁寧に読み解きながら、表現の真意を突き止め、文章の魅力を楽しみたいと思います。なお、一回一回読み切りの形をとりますので、どこから参加して下さっても結構です。

日 程 金曜 10:30~12:00 全10回

- ① 4/24 『大和物語』を読むために
(第八〇段(ふるさとの花)・第八一段(過ぎし言の葉))
- ② 5/22 第八二段(栗駒山) ~ 第八四段(誓ひし命)
- ③ 6/19 第一一六段(長さ嘆き) ~ 第一一九段(ゆふつけ鳥)
- ④ 7/24 第一二六段(水汲む女) ~ 第一二八段(さを鹿)
- ⑤ 9/18 第一三四段(あはぬ夜も) ~ 第一三六段(つれづれの思ひ)
- ⑥ 10/23 第一六三段(菊の根) ~ 第一六五段(つひに行く道)
- ⑦ 11/20 第一六八段(苔の衣)〈上〉
- ⑧ 1/22 第一六八段(苔の衣)〈中〉

- ⑨ 2/19 第一六八段(苔の衣)〈下〉
- ⑩ 3/19 第一六九段(井手のをとめ)・第一七〇段(青柳の糸)

会 場 聖心女子大学4号館
聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 山口 佳紀(聖心女子大学 名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 20,000円 **定 員** 15名程度

宗教講座

BE*hive 企画展「宗教と共生」



対面式

本講座は、聖心女子大学4号館 BE*hive にて開催される企画展「宗教と共生」と連動し、多様な宗教観・価値観との「共生」について考えることを目的とした参加型講座です。3期に分かれて開催される企画展に合わせ、各期のテーマに応じた学びと体験が出来る講座となります。

第1期の企画展『カトリックは日本社会の窓だった!』(現在開催中・会期4月21日まで)に合わせて、明治維新によって世界に向かって開かれた制度や技術、学問や文化、芸術、宗教などの様々な「窓」の一つとなった「カトリック」のキリスト教に焦点を当てた講座を計画しています。

2期以降の詳細については決まり次第、生涯学習センターのホームページにて公開いたします。



日 程 全3回

- ①4/20(月) 13:00~15:00、
- ②秋頃、③冬頃

会 場 聖心女子大学4号館 聖心コモンズルーム及び
展示・ワークショップスペースBE*hive

開講方式 対面式(体験型:講座+ギャラリートーク)

- 講 師**
- ①加藤 和哉(聖心女子大学 教授)
 - ②森重 行敏
(洗足学園音楽大学 客員教授)
 - ③義澤 幸恵
(神奈川工科大学 非常勤講師)

対 象 制限なし

受講料 各回2,000円

定 員 15名程度

文学講座 曾野綾子・人と文学



2025年2月、93歳で亡くなった曾野綾子は、20代初めの文学的出発から半世紀以上にわたり、小説や人生論風エッセイ、時事問題に関する発言などで活躍を続けました。その人間観の根底には、幼稚園から大学まで聖心女子学院で受けたカトリック教育と、人間の運命を実感した戦時体験があります。

不合理な現世のかたちを見極め、その先の生き方を探ろうとした曾野作品は、読むものに様々なことを問いかけます。本講座では、代表的な作品に具体的に言及しながら、「遠来の客たち」(1954, 芥川賞候補)に始まる曾野文学の軌跡をたどり、その特質について考えます。

日 程 火曜 13:00~14:30 全2回 **定 員** 制限なし

- ①6/9 人と文学—その概観
- ②6/30 作品が語りかけるもの

会 場 オンライン

開講方式 オンライン式(ZOOM)

講 師 しとみ 蒔 際子(金沢学院大学文学部 教授)

対 象 制限なし

受講料 4,000円



教養講座 桃山の茶陶



縄文土器以来の長い歴史を誇る日本陶磁の中で、最も創造性あふれるのが「桃山の茶陶」です。室町時代から桃山時代にかけての茶の湯の隆盛の中で生まれた「桃山の茶陶」の魅力と、どのように展開し、何を成し遂げたのかについて二つの視点から迫ります。

第一の視点は喫茶の碗。曜変天目に代表される中国陶磁の最高峰を賞玩する世界から、一転、「わびさび」の価値観の創出へ。そこから始まる日本陶磁、最初にして最大の創造を喫茶の碗の展開から見ていきます。第二の視点は懐石の器です。侘茶の始まりは茶の湯食事の懐石で用いる器にも大きな変化をもたらしました。それがどのようにすさまじく、さらに現在では地球規模にどのように広がっていくのかに迫ります。

二つの視点から「桃山の茶陶」に迫ることで日本文化の本質もみえてくることでしょう。

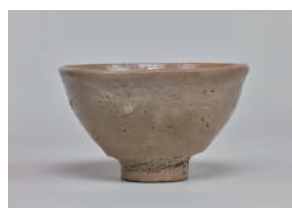
日 程 木曜 13:00~14:30 全2回 **対 象** 制限なし **受講料** 4,000円

- ①6/4 喫茶の碗の物語
- ②6/18 どうして日本人はフィンガーボウルの水を飲んだのか

会 場 聖心女子大学4号館 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 伊藤 嘉章(愛知県陶磁美術館特別顧問・町田市立博物館長)



重要美術品 大井戸茶碗 有楽井戸
(東京国立博物館蔵)
出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)



織部洲浜形手鉢(東京国立博物館蔵)
出典: ColBase (<https://colbase.nich.go.jp>)

教養講座

もっと知りたい仏像の魅力 —飛鳥時代を中心に—



対面式

6世紀半ば、日本に仏教が伝来しました。それから半世紀を経た7世紀ごろになると、本格的な仏像がつくられるようになります。その後、日本の仏像は大陸文化と多様な関係を築きながら、時代ごとに造形表現を豊かに発展させてきました。本講座では、日本彫刻史の流れを追いながら、各時代に生まれた仏像の魅力に迫ります。

第1回 飛鳥時代前期 —造像のはじまり

飛鳥や斑鳩といった奈良の地を舞台に、仏像づくりを先導した鞍作部の造像活動に注目します。飛鳥時代前期の仏像がもつ特徴や造形美を、代表的な作品を通してご紹介します。

第2回 飛鳥時代後期 —信仰の広がりとは仏像の変遷

朝廷の政策により、仏教は日本各地へと広まりました。今回は、各地に造像された仏像の特色を紹介しながら、日本仏像史の黎明期である飛鳥時代の仏像の変遷とその広がりを展望します。

日 程 火曜 13:00~14:30 全2回
①7/7、②7/21

会 場 聖心女子大学4号館
聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 血井 舞(学習院大学文学部 教授)

対 象 制限なし

受 講 料 4,000円

定 員 15名程度

菩薩立像(ぼさつりゅうぞう)
木造、彩色 飛鳥時代・7世紀 東京国立博物館蔵
出典: ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)



教養講座

長崎奉行所伝来キリシタン関係資料にみる信仰と禁教 —いわゆるマリア観音と踏絵をとおして—



対面式

近世日本のキリスト教信徒であるキリシタンの遺物とされる品々のうち、江戸時代から明治初年にかけて、浦上を中心とする長崎各地の潜伏キリシタンから押収され、長崎奉行所の宗門蔵で保管されていたキリシタン関係遺品は、明治7年(1874)に長崎県から国へ移管が申し出られ、現在は東京国立博物館に収蔵されています。キリシタン信仰史を知るうえで欠かせない資料として、重要文化財に指定されるこれら長崎奉行所伝来キリシタン関係資料から、いわゆるマリア観音と踏絵を取り上げ、近年実施している科学分析の結果も踏まえながら、潜伏キリシタンの信仰と江戸時代の禁教政策についてお話したいと思います。

日 程 木曜 13:00~14:30 全2回
①5/14、②5/28

会 場 聖心女子大学4号館 聖心コモンズルーム

開講方式 対面式

講 師 西木 政統(東京国立博物館 主任研究員)

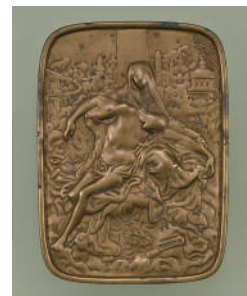
対 象 制限なし

受 講 料 4,000円

定 員 15名程度



観音菩薩坐像 [重要文化財]
中国・徳化窯 明~清時代・17世紀 白磁製
長崎奉行所旧蔵品(安政3年長崎奉行所に収納)
出典: ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)



踏絵 キリスト像(ヒエタ) [重要文化財]
江戸時代・17世紀 真鍮製 長崎奉行所旧蔵品
出典: ColBase(<https://colbase.nich.go.jp/>)

S2601 宗教音楽と典礼音楽の世界Ⅳ



旧約聖書の時代から、神の賛美には歌とともにさまざまな楽器が使われてきた。神を賛美する音楽の様々な形に触れ、典礼音楽の歴史や魅力について理解を深めていく。

- 第1回(5/8) **キリスト教と音楽** さまざまな楽器で賛美していた時代について
国際基督教大学名誉教授 金澤 正剛
- 第2回(5/29) **グレゴリオ聖歌とオルガン**(ミニコンサート付)
立教大学大学院特任教授 米沢 陽子
- 第3回(6/19) **キリスト教信仰と教会ソナタ、典礼における器楽曲の役割**(トリオミニコンサート付)
カトリック豊島教会主任司祭、上智大学・南山大学講師 田中 昇
- 第4回(7/17) **バッハのコラールの世界**(ミニコンサート付)
東京室内歌劇場理事、声楽家 中川 郁太郎

日 程	金曜 14:00~16:00 5/8、5/29、6/19、7/17	対 象	制限なし
会 場	聖堂ほか 開講方式 対面式	受 講 料	7,000円
講 師	金澤 正剛・米沢 陽子・田中 昇・中川 郁太郎 (国際基督教大学名誉教授ほか) コーディネーター：関 幸子(ブルーベルの森)	定 員	100名
		使用テキスト	特になし

TL2602 トーチライトセミナー 2026



「トーチライト・セミナー」は、本学初代学長マザー・エリザベス・ブリットの言葉「あなたがたはどこにいても、愛の灯火を掲げる人になりなさい。(No matter where you are, you must be torchbearers of love.)」から命名された講座で、本学の博士課程を修了した若い研究者によるオムニバス講義をお届けします。

本年度は「自由を生きる」を共通のテーマとして、哲学、日本文学などを専門とする研究者の講義を配信する予定です。本学で生まれ、巣立った知の探求者の多彩な研究にぜひ触れていただけたらと考えています(詳細は、HP等でお知らせします)。

日 程	通年4回 配信日は決定次第お知らせします。	対 象	制限なし	受 講 料	4,000円
会 場	専用ホームページ 開講方式 録画配信	定 員	制限なし	使用テキスト	未定
講 師	倉持 長子 (国士館大学文学部専任講師 日本中世文学・伝統芸能) 小沼 華子 (清泉大学看護学部助教 看護哲学・フランス現代思想) 押見 まり (北海道大学JSPS特別研究員 (PD)/日本学術振興会特別研究員-PD 哲学・フランス現代思想) 他、1名				



A2604

『源氏物語』 「宇治十帖」 を読む



対面式

『源氏物語』 「宇治十帖」 の最終巻夢浮橋の概要等に触れた所で、昨年度は授業を終えましたが、今年度はいよいよその最終巻を読み解くこととなります。出家を遂げた浮舟に、薫の意を受けた横川の僧都が、還俗を勧めたのかどうか、そして浮舟の行方、救済の道筋はどうなるのか、そこには様々な謎が孕まれています。前期、当該巻読了の上、後期、浮舟の仏教的課題に繋がる女性の出家をめぐる問題を正篇で担った紫の上について考察を進めます。紫の上から浮舟へ、道心、女性の生き方等の問題は、どう究められ、『源氏物語』 は終焉を迎えるのか、共に考えたいと思います。なお紫の上考察に関してはプリントのみ使用することとなります。

日 程 火曜 13:30~15:10
 通年10回：5/12、5/26、6/9、
 6/23、7/7、10/6、10/27、
 11/10、11/24、12/8

使用テキスト 玉上琢彌 訳注『源氏物語』 第十巻(浮舟～夢浮橋)角川ソフィア文庫、プリント昨年度使用のテキストに同じ。今年度よりご参加の方は、開始前にご購入ください。なお本テキストが入手できない場合は、小学館新編全集、岩波文庫等のテキストでもかまいません。

会 場 聖心女子大学一号館

開講方式 対面式

講 師 原岡 文子(本学名誉教授)

対 象 制限なし **受講料** 10,000円

定 員 15名程度



A2607

小説の中の女性たち —昭和—



対面式

日本近代文学の小説において、女性たちはどのように描かれてきたのでしょうか。旧弊な女性観や家意識と新しい時代の価値観とのせめぎあいの中で、女性たちは過酷な生を生きざるを得ませんでした。昭和の次第に高まる軍国主義的な風潮、さらに敗戦、戦後と変転する時代、それでも懸命に自らの人生を切り開いていく彼女たち。登場人物たちの姿は時代の相を映しながら、現代を生きる私たちとどこかで繋がっているかもしれません。明治・大正期の作品を採り上げた昨年度に引き続き、今年度は昭和の作品を丁寧に読み解いていきます。

- 第1回(5/14) 林芙美子「放浪記」 流転する生
- 第2回(6/18) 永井荷風「濃東綺譚」 玉の井のお雪
- 第3回(7/16) 堀辰雄「菜穂子」 物語を生きる
- 第4回(10/15) 谷崎潤一郎「細雪」 上方の商家の姉妹
- 第5回(11/12) 太宰治「ヴィヨンの妻」 生きてさえすればいい
- 第6回(12/17) 宇野千代「色ざんげ」 二人の女



日 程 木曜 13:30~15:10
 通年6回：5/14、6/18、7/16、
 10/15、11/12、12/17

講 師 松野 志保
 (本学非常勤講師・日本文学研究者)

対 象 制限なし **受講料** 6,000円

会 場 聖心女子大学一号館

使用テキスト その都度資料を配布します。(各作品は書籍のほか、一部は「青空文庫」でも無料でお読みいただけます。)

開講方式 対面式 **定 員** 15名程度

A2603 ミサ曲の歴史



ミサ典礼の中で、歌詞が固定している通常文に曲付けしたミサ曲の歴史を辿る。通常文は6曲から成るが、特にルネサンス以後、最後の《イテ・ミサ・エスト》を除く5つの部分を組曲風にまとめて「ミサ曲」と呼ぶようになった背景などを辿る。



日 程 火曜 13:30~15:10
 通年6回：5/19、6/16、7/21、10/20、
 11/17、12/15

対 象 制限なし

受講料 6,000円

会 場 聖心女子大学一号館 **開講方式** 対面式

定 員 15名程度

講 師 金澤 正剛(国際基督教大学名誉教授)

使用テキスト 必要な資料は、講座ごとにプリントして配布する。

A2605 岩下壮一と日本のカトリック哲学の始まり



第二次世界大戦後、日本に多くのカトリックの哲学者が誕生したことは余り知られていません。山田晶、今道友信、井上忠、加藤信朗、稲垣良典、岩田靖夫など、主に古代哲学・中世哲学の分野で多くのカトリックの研究者が生まれました。一方で、押田成人、井上洋治など、哲学を学んだ後、司祭になった人びとも少なくありません。日本社会において、カトリックの信仰を持つことと、哲学することにはどのような関係があったのでしょうか。西洋近代哲学を学ぶところから始まった日本の哲学の歴史をたどりながら、戦前において、カトリックの信仰と哲学を追求した岩下壮一と吉満義彦がどのような地平を拓いたのかを考えます。



日 程 水曜 13:30~15:10
 通年4回：5/27、7/22、10/21、12/16

開講方式 対面式

講 師 加藤 和哉(本学教授)

対 象 制限なし

受講料 4,000円

会 場 聖心女子大学一号館

定 員 15名程度

使用テキスト 特になし

B2506 文学と人生



文学に凝結している人間の知恵を学び、それを私たちの日常にいかにか活かすべきかを、キリスト教精神に基づいて、皆で一緒に考えていきたいと思えます。

日 程 木曜 10:50~12:30
 通年6回 5/21、6/18、7/16、10/15、11/19、12/17

会 場 聖心女子大学4号館 3階ブリット記念ホール

開講方式 対面式 **講 師** 鈴木 秀子(元本学教授)

対 象 制限なし **受講料** 6,000円

定 員 50名程度 **使用テキスト** 毎回配布資料を用意します。



A2608 知的世界の基盤としての修道霊性



対面式

- 教育史において修道院・修道会が有してきた意義を概観する。
- 哲学を中心とする中世の知的世界において修道院・修道会が有してきた意義を概観する。
- トマス・アクィナスを中心にスコラ学の展開を概観する。
- 近代以降の修道会がカトリック的な学校教育に与えてきた方向性を、イエズス会、聖心会の活動を中心に明らかにする。
- 以上に概観した知的遺産が、現代において有する意義を改めて明らかにする。

日 程 木曜 15:20~17:00
通年6回：5/21、6/18、7/16、
10/22、11/19、12/17

定 員 15名程度

使用テキスト 特になし

会 場 聖心女子大学一号館

開講方式 対面式

講 師 桑原 直己(筑波大学名誉教授)

対 象 制限なし

受講料 6,000円



A2609 私たちの愛唱歌150年

—近代国家日本の「懐かしい歌」は讚美歌から始まった—



対面式

人は生涯にわたって歌うと言っても過言ではありません。とくに子ども時代に歌った歌の中には、折に触れて口ずさみ、世代を超えて歌われる曲もあるのではないのでしょうか。そうした歌の多くは、明治期以降に西洋文化を吸収して誕生した歌です。日本が近代国家として歩む中、歌は社会を映しながら人々の心の拠り所となってきました。それらの歌はなぜ日本人の心を捉えるのか、分析も交えながら、愛唱歌の成り立ちの謎を辿ります。

日 程 水曜 13:30~15:10
通年6回：5/13、6/3、7/1、10/7、
11/4、12/2

使用テキスト 特になし

会 場 聖心女子大学一号館

開講方式 対面式

講 師 今川 恭子(元本学教授)

対 象 制限なし

受講料 6,000円

定 員 15名程度



唱歌遊戯の図
《蝶々》(大村芳樹編『音楽の枝折』[明治21年])より



《菊》(《庭の千草》)
『小学唱歌集』第三篇[1881-1884]より

B2610 聖書ヘブライ語中級（講読）



継続中の聖書ヘブライ語の中級のクラスです。中級は士師記10章以降を継続して原文で読みます。文法を終わらせてテキストを読みたい方は途中参加していただいても構いません。

וְיָקָם אַחֲרָי אֲבִימֶלֶךְ

日 程 木曜 13:30~15:10
前期10回：5/7、5/14、5/21、5/28、
6/11、6/18、6/25、7/2、
7/9、7/16

対 象 制限なし

受講料 10,000円 **定 員** 制限なし

使用テキスト 中級：“Biblia Hebraica Stuttgartensia”, Deutsche bibelgesellschaft., または Biblia Hebraica Quinta, “JUDICES”. Lexicon; Willam Holladay, “A concise Hebrew and Aramaic lexicon of the Old Testament”, Eerdmans, 1972.

会 場 オンライン同時配信

開講方式 オンライン

講 師 荒川 博行(カトリック東京大司教区司祭)

B2611 ヘブライ語文法初級（続）



初級は山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』L.15 (p.98)から続けて文法を学びます。文法終了に近いので、ヘブライ語初学者の方はご遠慮ください。

וְיִשְׁלַח מִיָּדוֹ אֶת־הַלֶּחֶת

日 程 木曜 15:20~17:00
前期10回：5/7、5/14、5/21、5/28、
6/11、6/18、6/25、7/2、
7/9、7/16

対 象 制限なし

受講料 10,000円 **定 員** 制限なし

使用テキスト 初級：山田恵子『ニューエクスプレス+古典ヘブライ語』白水社, 2019. Lexicon; Willam Holladay, “A concise Hebrew and Aramaic lexicon of the Old Testament”, Eerdmans, 1972.

会 場 オンライン同時配信

開講方式 オンライン

講 師 荒川 博行(カトリック東京大司教区司祭)

C2612 ステンドグラスを見る眼 —中世から現代まで—



彩色されたガラス片に図柄を描き、鉛枠で組み合わせて聖堂の窓に嵌め込んだステンドグラスの歴史について、最新の研究成果を踏まえて考察する。講義内容は以下のとおり。

①技法 ②初期作例 ③④ロマネスクの窓 ⑤~⑦ゴシック大聖堂の窓 ⑧ルネサンスから現代へ

日 程 水曜配信
通年8回：4/22、5/20、6/17、7/15、
10/7、11/18、12/16、1/13

対 象 制限なし

受講料 8,000円

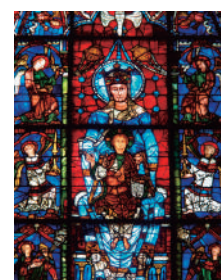
定 員 制限なし

使用テキスト 特になし
(授業時に適宜紹介する)

会 場 オンライン録画配信

開講方式 録画配信

講 師 高野 禎子(清泉女子大学名誉教授)



C2613 キリスト教中世美の世界 —スペイン中世写本挿絵の光輝—



録画配信

イベリア半島スペインでは、10世紀から13世紀にかけて、とりわけ北部各地の修道院でキリスト教写本が盛んに制作され、そこに描き込まれた挿絵美術が開花し、さまざまに受け継がれ展開されてゆきました。本年度のこの講座では、主として11世紀以降の王都や王家ゆかりの修道院に由来する写本群をとりあげ、それらの洗練された筆遣いによる挿絵の「華麗な美」について解説します。

日 程	金曜配信 3回：10/2、11/6、12/11
会 場	オンライン録画配信
開講方式	録画配信
講 師	安發 和彰(美術史家)
対 象	制限なし
受講料	3,000円
定 員	制限なし
使用テキスト	とくにありません。毎回パワーポイントを使用、資料を配付します。



C2614 現代宗教学 —ユダヤ教徒は聖書をどう読んできたか—



録画配信

ユダヤ人はキリスト教でいう旧約聖書のみを聖書と考えます。ローマ帝国に敗北し、国土と神殿と聖都を失い世界中に散り散りになりながら、神の教えを拠り所として宗教共同体として再生します。それを支えたのがヘブライ語聖書だった。私は、ユダヤ教を研究してきて、ユダヤ人ほどヘブライ語聖書を読み込んできた集団はいないと思っています。批判的に見ることも含めて、無尽蔵の意味が込められた聖書を理解する営みを体験してみませんか。

日 程	金曜配信 通年12回：5/15、5/29、6/12、6/26、7/10、7/24、10/2、10/16、10/30、11/13、11/27、12/11
会 場	オンライン録画配信
開講方式	録画配信
講 師	市川 裕(東京大学名誉教授)
対 象	制限なし
受講料	12,000円
定 員	制限なし
使用テキスト	毎回、レジュメを作成します。



ウクライナ語の世界



世界的な小麦の生産地、農業大国であるウクライナ。独立国家としてはまだ若い一方、文化的ルーツは約千年前の東スラブの中心地であったキーウ大公国の時代に遡ります。歴史的な文化遺産、美しい民族衣装、さらにボルシチなどのおいしい料理等、ウクライナの多様な魅力に触れながら、ウクライナ語で簡単な会話や挨拶を交わしてみませんか？

日 程	8~9月頃(全4回)
会 場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講 師	小川 暁道 (東京外国語大学 非常勤講師他)
対 象	高校生以上
受講料	一般6,000円、 聖心女子大学協会の会員5,000円、 大学生4,000円、 高校生/聖心女子大学生1,000円
定 員	15名



インドネシア語の世界



独特の文化を持つバリ島を代表に魅力がいっぱいのインドネシア。シンプルな発音で文法も難しい変化もない学びやすいインドネシア語を学びつつ、歴史や文化を学びませんか。

2026年5月~10月に聖心グローバルプラザ1階の展示・ワークショップスペース「BE*hive」で開催予定の企画展「共生を育む一多宗教国家インドネシアの人々の暮らし」もあわせてご覧いただくと、より理解が深まります。是非、足をお運びください(⇒p.3 BE*hive企画展「宗教と共生」もご参照)。

日 程	8~9月頃(全4回)
会 場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講 師	フロレンティナ エリカ (東京外国語大学 非常勤講師他)
対 象	高校生以上
受講料	一般6,000円、 聖心女子大学協会の会員5,000円、 大学生4,000円、 高校生/聖心女子大学生1,000円
定 員	15名



オランダ語の世界



世界幸福度ランキング上位のオランダ。多様な文化や宗教を受け入れてきた「寛容の国」の言語を学んでみませんか。オランダ語の挨拶表現や基本的な文法とともに、開放的で合理的なオランダの文化や日常の習慣についても紹介します。

2026年11月～2027年3月に聖心グローバルプラザ1階の展示・ワークショップスペース「BE*hive」で開催予定の企画展「オランダにおける宗教と移民」もあわせてご覧いただくと、より理解が深まります。是非、足をお運びください(⇒p.3 BE*hive企画展「宗教と共生」もご参照)。

日程	2027年2～3月頃(全4回)
会場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講師	岡部 亜美 (言語学博士. オランダ ライデン大学)
対象	高校生以上
受講料	一般6,000円、 聖心女子大学協力会会員5,000円、 大学生4,000円、 高校生/聖心女子大学生1,000円

定員 15名



ブラジルポルトガル語の世界



本講座は、ブラジルポルトガル語を初めて学ぶ方を対象とした初級講座です。挨拶や自己紹介、基礎文法の学びを通して、ブラジルポルトガル語の基本を身につけます。あわせて、ブラジルの文化・社会的特徴など文化面についても紹介します。

また、日系社会における継承語(heritage language)*としての側面も紹介し、移民の歴史や言語継承について考えます。

*継承語：移民などの子どもが、移住先の言語(現地語)ではなく、家庭やコミュニティ内で親から受け継ぐ母語のこと。

日程	2027年2～3月頃(全4回)
会場	オンライン式(ZOOM)
開講方式	オンライン式(ZOOM)
講師	鎌田 ファチマ (ジャーナリスト、ブラジル・サンパウロ出身、 JICAなどでのポルトガル語指導経験あり)
対象	高校生以上
受講料	一般6,000円、 聖心女子大学協力会会員5,000円、 大学生4,000円、 高校生/聖心女子大学生1,000円

定員 15名



手話の世界



講師の豊富な手話体験を聞きながら手話の世界について学び、受講者一人ひとりが教わったばかりの手話を使って語り合う和やかな手話講座です。小学生以上対象(小学生は保護者の付き添いが必要になる場合があります)。

- 日 程** 8月29日(土)、9月5日(土)
10:00~15:00
- 会 場** 聖心女子大学4号館
- 開講方式** 対面式
- 講 師** 田口 雅子(渋谷区登録手話通訳者)
- 対 象** 小学生以上
- 受 講 料** 一般3,000円、
聖心女子大学協会会員2,000円、
大学生以下1,000円
- 定 員** 15名



高校生・大学生対象 地域日本語教室ボランティアのすすめ



日本語ボランティアに興味はありませんか？ 現在日本に住んでいる多くの外国人は、地域日本語教室で日本語を勉強しています。教室は全国にあり(東京都だけでも250カ所以上)、ボランティアは絶賛募集中です。

本講座では、日本語ボランティアの始め方や日本語教育の面白さをお伝えします。ぜひお気軽にご参加ください。

- 日 程** 8月~9月予定
- 会 場** オンライン式(ZOOM)
- 開講方式** オンライン式(ZOOM)
- 講 師** 岩田 一成
(聖心女子大学日本語日本文学科教授)
- 対 象** 高校生、大学生
- 受 講 料** 無料
- 定 員** 30名程度



Japanese
Conversation Classes

にほんご講座「ひろおおしゃべりクラブ」



対面式

近隣にお住まいの外国人の方々を対象とした「にほんご講座」です。月曜日、木曜日の午前クラスはテキストをもとに会話表現を学びます。月曜日午後クラスは自由な会話練習クラスです。全てのクラスに日本語講師と、大学生ボランティアが参加します。

日程 春：4月20日(月)～6月29日(月)

①10:50～12:20

②13:30～15:10

4月24日(金)～7月3日(金)

③10:50～12:20

祝日を除く各10回

秋：9月末～2027年1月上旬

会場

聖心女子大学4号館

開講方式

対面式

対象

- ・日本在住外国人(日本語を20時間程度勉強した人)
- ・ひらがな、カタカナ、ローマ字で日本語を読める人
- ・簡単な日本語でお話できる人

受講料

①、③は各8,000円(10回)

②は無料

定員

30名程度



赤十字救急法基礎講習 一心肺蘇生・AED



対面式

私たちの行動で、救える命があります。いざという時のために、誰でもできる一次救命措置(心肺蘇生、AEDの使用法、気道異物除去など)を学びましょう。講習終了時の検定試験に合格した方には赤十字ベーシックライフサポーター認定証が交付されます。

日程 6月6日(土) 13:00～18:00

会場 聖心女子大学4号館

開講方式 対面式

対象 高校生以上

受講料 (教材費等) 1,500円
※高校生/聖心女子大学生は無料

定員 25名程度



地球規模課題

ファシリテーター養成のための

SDGs/ESD for 2030 実践講座

対面式
オンライン

本講座では、気候変動など地球規模課題の解決に向けて体験的に学ぶ手法、PBLのデザイン、学習者への問いの作り方、さらに近年のSDGsで重視されている自己変容と社会変容に関する理論などを学びます。チームでプログラムを考え、自分たちで設計したプログラムをDay3に聖心女子大学の教室で対面で実践する、4日間の実践型連続講座です。

日 程 7～9月頃

会 場 Day1, 2, 4：オンラインおよびeラーニング
Day3：聖心女子大学4号館

開講方式 オンライン式／対面式

講 師 コーディネーター：井澤 友郭
(こども国連環境会議推進協会事務局長)

対 象 大学生以上

受講料 一般10,000円、聖心女子大学協会の会員8,000円、
大学生4,000円(聖心女子大学生は1,000円)

定 員 各回20名



性の多様性 にじいろコミュニティスペース@聖心女子大学



対面式

ジェンダー平等・性の多様性をテーマにしたセミナーです。ミニレクチャーを通してジェンダー課題や性的多様性への理解を促進し、ワークショップや交流会を通して当事者同士・当事者とアライ(理解・支援する人)・アライ同士の親交を広げ・深めます。それにより、性のありようにかかわらず安心して過ごせるキャンパスづくりを進め、〈ともに・豊かに生きる〉ことを身のまわりから創り出していきます。

日 程 年間3～4回。決まり次第、グローバル共生
研究所ホームページでお知らせします。

会 場 聖心女子大学4号館

開講方式 対面式

講 師 渋谷インクルーシブシティセンター
(アイリス)ほか

対 象 大学生、大学教職員、本学卒業生、
高校生、本学関係者

受講料 無料

定 員 各回20名



音楽と共生 知らない楽器をさわり、知らない言葉でうたう
—インドネシア西ジャワのガムラン・ドゥグン ワークショップ—



対面式

インドネシアジャワ島西部周辺で演奏されるガムラン・ドゥグンのワークショップです。昨年5月のワークショップ「知らない言葉でうたう」に「知らないリズムにのる」をくわえ、パワーアップしました。繰り返しの音楽ともいわれるガムランにおいて、歌とリズムの関係はどうなっているのでしょうか。長くガムランを演奏されてきた森重行敏さん、村上圭子さんをお招きし、お話しをお聞きます。インドネシア語で太鼓を意味するクندانに着目し、参加者のみなさまと西ジャワのガムラン・ドゥグンを楽しむひと時を過ごしたいと思います。

日 程 5月23日(土)午後

定 員 50名程度

会 場 聖心女子大学宮代ホール

開講方式 対面式

講 師 出演：パラグナ・グループ
解説：村上 圭子(ガムラン演奏家)、
森重行敏(洗足学園音楽大学名誉教授)
司会：佐藤紀子(聖心女子大学哲学科講師)

対 象 制限なし ※楽器ワークショップ参加は10歳以上

受 講 料 無料



希望のつくり手となるために



対面式

聖心会では、JPIC（Justice, Peace and Integrity of Creation=正義と平和と創造界の保全）へのコミットメントを、「祝福され、そして破壊されている世界の中での希望のつくり手」であることと考えています。本講座では、日本国内外の課題を取り上げ、「希望のつくり手」として歩むためのヒントを見出すことをともに考えます。

日 程 年2回 土曜日
 第1回 2026年6月又は7月予定
 14時～15時30分
 第2回 2026年11月14日(土)
 14時～15時30分

対 象 どなたでもご参加ください
定 員 なし

会 場 聖心女子大学構内

開講方式 対面式

講 師 第1回 門馬 秀介(国境なき医師団 救命救急医・外傷外科医)
 『命をつなぐ仕事—国境なき医師団の現場から—(仮題)』
 第2回 渡辺 考(映像ディレクター・作家・旅人)
 『どうして?なんで?でも…あきらめない～テレビディレクター・旅人の読む現代社会と未来への希望～』



門馬 秀介



渡辺 考

心に灯す光

対面式

オンライン

本講座では、多くの方が生きる中で直面する課題を福音的眼差しでとらえ、新たな視点で人生を見つめ、希望をもって向き合うヒントを提供することを目的としています。現実に向き合いながら、どのように希望を育てていくことができるのか、一人ひとりの心に光が灯るメッセージをお伝えいたします。

日 程 年3回 土曜日
 第1回 2026年4月18日(土) 14時～15時
 第2回 2026年10月3日(土) 14時～15時
 第3回 2027年1月30日(土) 16時～17時30分
 (Zoom 見逃し配信あり)

対 象 どなたでもご参加ください
定 員 なし

会 場 聖心女子大学構内 **開講方式** 対面式・Zoom

講 師 第1回 シスター 鈴木 秀子(聖心会) 【対面】
 『人生の春』
 第2回 コロン えりか(ホワイトハンドコーラス
 NIPPON芸術監督/ソプラノ歌手) 【対面】
 『想像と創造のチカラ～心の灯火をみつげるために』
 第3回 片柳 弘史(イエズス会司祭) 【Zoom】
 『小さなことに大きな愛を
 ～マザー・テレサに学ぶ幸せのヒント』



シスター 鈴木



コロン えりか



片柳 弘史

無料でご参加いただけますが、事務経費の一部として、ご寄付のご協力もよろしくお願いいたします。

心の泉



それぞれの人生には、その生き方の源となる豊かな泉があります。講師が、ご自分の歩みを振り返りながら、これまでの生き方を支えてきた内なる泉を分かち合います。

本講座が、今を生きる私たちの歩みに潤いをもたらすひとときになりましたら幸いです。

- 日 程** 年2回 土曜日
第1回 7月4日(土) 14時~15時30分
第2回 9月19日(土) 14時~15時30分

会 場 聖心女子大学構内

開講方式 対面式

- 講 師** 第1回 シスター 宇野 三恵子(聖心会)
『心の泉~内へ深く、外へ力強く~』
第2回 印出 忠夫(元聖心女子大学教授)
『「わたし」の歴史とキリスト教史』

対 象 どなたでもご参加ください

定 員 40名程度



シスター 宇野

印出 忠夫

『father カンボジアへ幸せを届けたゴっちゃん神父の物語』 上映会・特別講演会



神言会司祭 後藤文雄神父(2025年9月17日96歳でご帰天)の半生を描いたドキュメンタリー映画『father カンボジアへ幸せを届けたゴっちゃん神父の物語』を上映し、映画制作者である渡辺考氏の講演会を行います。この映画は、祖国の内戦を逃れてきたカンボジア難民の子どもを受け入れ、父親として14人の子供を育てあげ、その関わりから始まったカンボジアでの学校作りを中心に後藤神父の生き方を描き、2018年に上映されたものです。後藤神父の生き方を身近で目の当たりにした渡辺考氏が、映画制作に込めた想いを、今を生きる私たちに伝えます。

日 程 2026年5月30日(土) 14時~16時30分

会 場 聖心女子大学構内

開講方式 対面式

講 師 渡辺 考(映像ディレクター・作家・旅人)

対 象 どなたでもご参加ください

定 員 なし



親子で楽しむおはなし会



対面式

子どもたちはおはなしが大好きです。よい物語は子どもの心に深い満足感と大きな喜びをもたらします。子どもは登場人物になりきっておはなしの世界を丸ごと楽しみます。ストーリーテリングや読み聞かせによるおはなしを親子でお楽しみください。

後半は、年齢に合ったお薦めの本もたくさん並べますので、是非手にとってご覧ください。

日 程 2026年8月5日(水) 10時~12時

定 員 15組

会 場 聖心会みこころセンター
(白金 聖心女子学院キャンパス内)

開講方式 対面式

講 師 永田 洋子
(図書館、小学校、保育所などでのストーリーテリングや絵本の読み聞かせをライフワークとしている。元聖心女子学院初等科教諭)

対 象 小学校1, 2, 3年生と保護者

受講料 事務諸経費の一部として1組500円のご寄付をお願いいたしております



親子で楽しむクリスマスおはなし会



対面式

子どもたちはおはなしが大好きです。よい物語は子どもの心に深い満足感と大きな喜びをもたらします。子どもは登場人物になりきっておはなしの世界を丸ごと楽しみます。ストーリーテリングや読み聞かせによる季節のおはなしを親子でお楽しみください。ちょっとしたお楽しみもあります。

日 程 2026年12月5日(土) 10時30分~12時

会 場 聖心会みこころセンター
(白金 聖心女子学院キャンパス内)

開講方式 対面式

講 師 永田 洋子
(図書館、小学校、保育所などでのストーリーテリングや絵本の読み聞かせをライフワークとしている。元聖心女子学院初等科教諭)

対 象 小学校1, 2, 3年生と保護者

受講料 事務諸経費の一部として1組500円のご寄付をお願いいたしております

定 員 15組



無料でご参加いただけますが、事務経費の一部として、ご寄付のご協力もよろしくお願いいたします。

山谷ボランティア



対面式

神の愛の宣教者会「山谷の家」では、毎日異なるプログラムで、山谷地区にいる路上生活者のひとびとの支援活動を行っています。土曜日のボランティア活動を通して、山谷地区のこと、路上生活者の生活の一旦を知ることから始めたいと思います。その日は、他の参加者と共に昼食も一緒にします。その後、私たちだけで分かち合いと振り返りの時間をもちます。1回だけの参加も歓迎します。

日 程	毎月第3土曜日 9時~14時
会 場	神の愛の宣教者会 山谷の家
開講方式	対面式
講 師	シスター 梶中 千秋(聖心会)
対 象	どなたでもご参加ください
定 員	なし



生涯学習センター

<https://www.sacred-heart.ac.jp/llc/>

〒150-0012 東京都渋谷区広尾4-3-1(聖心女子大学キャンパス内)

e-mail : sgc-hq@sacred-heart.jp



ホームページ

■ 生涯学習センター 講座の申込みについて

各講座のお申込みは、生涯学習センターホームページからお願いします。

* 諸経費の高騰に伴い、誠に恐縮ではございますが、受講料を改定いたしました。

今後も質の高い講座運営に努めてまいりますので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

* **お申込みの際には、急な休講や日程変更等の連絡に使用するため、必ずメールアドレスをご入力ください。**

お使いのメール環境によっては、迷惑メールフォルダに振り分けられる場合がございますので、受信設定をご確認ください。

* 過払い・誤振込分の返金ならびに受講確定後の返金には原則ご対応いたしかねます。

聖心女子大学付属機関 キリスト教文化研究所

<https://sites.google.com/view/ircc-ush/>

〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-3-1

e-mail : kiriken@u-sacred-heart.ac.jp



ホームページ

■ 教養ゼミナールのお申込みは、キリスト教文化研究所ホームページからお願いします。

聖心女子大学 グローバル共生研究所 Sacred Heart Institute for Sustainable Futures [SHISF]

<https://kyosei.u-sacred-heart.ac.jp/>



ホームページ



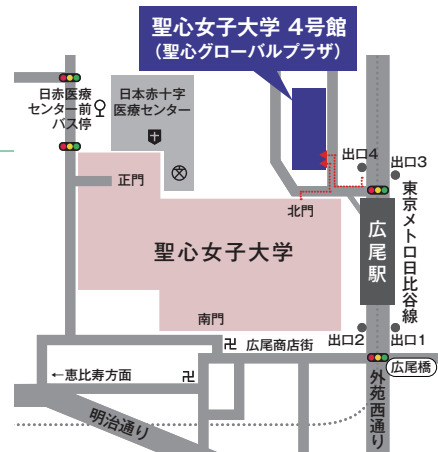
facebook



Instagram

e-mail : jimu-kyosei@u-sacred-heart.ac.jp

■ グローバル共生セミナーのお申込みは、
グローバル共生研究所ホームページからお願いします。
(各セミナー開始1~2ヶ月前を目途に受付を開始いたします。)



〒150-8938 東京都渋谷区広尾4-2-24
聖心女子大学4号館 / 聖心グローバルプラザ

聖心会みこころセンター

<https://www.m-sacred-heart.com/>

〒108-0072 東京都港区白金4-11-1

聖心女子学院 メモリアル校舎内 1F

e-mail : mikokoro@sacred-heart.or.jp (代表)

kouza@sacred-heart.or.jp

(講座のお問合せはこちらにお願いいたします。)



ホームページ



facebook



Instagram

■ 各講座のお申込みは、聖心会みこころセンターホームページからお願いします。
お申込みは、聖心会みこころセンターホームページ「講座・祈りの会」に記載の
お申込みフォームから受け付けております。
※ 無料公開講座も含め、すべての講座にお申し込みは必要です。